

SOS ニュース

はたらく心得

～コミュニケーション能力～

企業が新卒採用の選考時に重視するのは「コミュニケーション能力」。経団連が毎年実施する調査では十年連続一位です。「サークルの代表を務め、コミュニケーションには自信があります」と自己PRする学生がいますが、大半は勘違いをしています。本当のコミュニケーション能力とは、自分と異なる価値観や考え方を持つ他者と意志疎通出来る力。友達同士で会話が弾むのとは次元が違います。

この力が求められる理由は二つあります。一つは、就業構造の変化です。第一、二次産業で働く人の割合が減り、第三次産業で働く人の割合が7割と人と接する仕事が増えたのです。二つ目は、働く人の多様化です。かつて、会社で働くのは男性が中心でしたが、今は女性も半数近くが仕事をしています、派遣やパートも増え、外国人が働く職場も珍しくありません。多様な人たちが一緒に働くため、互いに理解しあい、協力することが難しくなっています。

今から出来る準備は、アルバイト先など周囲にいる年の離れた社会人と接する事。仕事の楽しさやつらさ、若い人に望む事やその理由を質問して下さい。また、留学などで外国人と接するのも有効です。

世代や文化が異なる人と話せば、人と接する訓練になり、いかに自分の価値観と異なるかもわかります。違いを理解し認める事が、コミュニケーション能力を鍛える第一歩になります。・・・今年の新入社員の特徴は「自動ブレーキ型」と言うことで前回もご紹介しましたが、無理はしないで要領よくまとめる若者に対して、「コミュニケーション能力」と言うことについてのコラムが目にとまりました。目上の人への意見、論争や悩み相談等も成長につながります。

※ 参考：H26.4.29 日本経済新聞より